

市民環境部会 会議録

【出席者】 委 員：10 名（欠席：2 名）
事 務 局：3 名（戦略部会員：2 名、政策推進課：1 名）
アドバイザー：1 名
ファシリテーター：2 名

【会議の内容】

1. はじめに

各自の自己紹介を行いました。

資料 1 に基づき、第 1 回まちづくり市民会議（全体会）の結果概要とふり返しシートの質問について事務局から説明しました。

2. 田原市総合計画フロー（案）について

3. 総合計画改定の視点について

資料 2、3 に基づき、総合計画改定のフローと本日の議題について、総合計画改定にあたって重視したい視点について事務局から説明しました。

4. 総合計画人口関連指標について

資料 4 に基づき、全国的な人口の動向、田原市の人口の動向、現時点での田原市の推計人口について事務局から説明し、意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

5. 戦略プロジェクトについて

資料 5 に基づき、戦略プロジェクトの概要について事務局が説明し、その後当日配布した資料に基づき、戦略プロジェクト案について戦略部会リーダーから説明しました。その後、戦略プロジェクトの市民提案、その他の意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

6. 市民評価について

資料 6 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議で実施する市民評価について事務局から説明し、評価対象となる「特定外来生物駆除事業」について説明を行いました。

市民評価に向けて、視察の実施、市民会議の日程、委員の役割分担について決定しました。

※視察の実施はなし

〔第 3 回市民会議日程〕 平成 24 年 2 月 20 日（月） 19：00～

〔市民評価役割分担〕

| | | | |
|----------|--|-----|----------------|
| コーディネーター | 岩崎アドバイザー | 補助員 | 戦略部会リーダー（中川主任） |
| 評価者 | 清水委員 ※その他の評価者は事務局一任 | | |
| 判定者 | 金原委員、中村委員、鈴木（裕）委員、長谷部委員 ※その他の判定者は事務局一任 | | |

7. 役員相互選について

委員の互選により、市民環境部会の幹事に河合（克）委員、副幹事に鈴木（吉）委員が決定しました。

8. アドバイザー総括（岩崎アドバイザー）

市民活動を活発にやっている人が集まる中で多様性が確保されるのはいいが、どういう形で同意をとっていくかが大切である。船頭多くして山に登るではいけない。事務局が、何を論点としてどこまで話すかといったことを明確に示すとよいと思う。

9. その他

各自ふり返しシートを記入し、解散しました。

主な意見【市民環境部会】

| 項目 | 現状・課題 |
|---------------------|---|
| <p>人口について</p> | <p>(委員) 人口減少の問題は市だけで対策をとることが難しいと思うので、広域圏で対策を考える必要があると思う。市として人口減少の要因を把握しているか。また、独身が多くなってきているが、未婚率などは調べたことがあるか。独身者が多いので、人口の問題には未婚・晩婚などが背景にあるように思われる。</p> <p>[事務局] 少子高齢化で、国内人口自体が減少していく中で、パイの奪い合いになっている。リーマンショックなどの経済情勢による製造業(主に期間工)への影響も大きかった。また、未婚率は国勢調査などを元に把握することができる。</p> <p>(アドバイザー) 人口減少はどこでも起こっている問題である。人口減少、少子高齢化は止められない。自分は田原市民ではないので“身の丈に合った”というものがどれくらいなのかわからないが、住んでいる人々のそのような実感はどうだろうか。</p> <p>(委員) “身の丈に合った”は難しい。今は女性も就労し、共働きが普通になった。こういう風にしたいという強い願望がないと、人口は自然に減っていってしまう。市の施策は人口が基盤になっているから、都市整備・交通網の整備によって各地区をコンパクトシティにして、人口増加を目指していきたい。</p> <p>(委員) 人口不足で働き手がなくなり、それが続くと商店などは廃業してしまう。そして働き口がないとなると、人口が増える要素がない。</p> <p>(委員) 結婚してもいいが、働きたいから子どもは持たないという人がいるので、子育てできる職場環境を整備してほしい。また、婚活事業などをJAが行っているようだが、「40歳まで」などの年齢制限は撤廃したらどうか。高齢でもパートナー探しのできた方がよい。</p> |
| <p>戦略プロジェクトについて</p> | <p>(委員) プロジェクト案として、菜の花のシーズンでなくても四季を通じて花が楽しめるよう「季節の花リレー」をしたらどうか。花が欲しいと言いながら、せっかくの花壇をコンクリートに舗装してしまったりしているという矛盾がある。花があることで観光客が来ることも期待できる。</p> <p>(委員) 前回のワールド・カフェでも花をよいところとしてあげている意見が多かった。しかし花を植える人がいなくなった。</p> <p>(委員) 花を植えるためには所有地の問題もあるので、地元の協力が不可欠である。ビューポイントを設定し、花の風景を点ではなく線にしていけたらよい。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>(委員) 海にごみが流れており、特に内海に集まってくるようである。海のごみはみんなが捨てている。海を清掃し、田原を美しくする運動を事業としていきたい。</p> <p>(委員) ごみ拾いの目的は自己啓発である。ごみを捨てない心を育てることが、美しい環境をつくる。</p> <p>(委員) 太平洋側のごみは外国のことが多い。海を清掃して、海を活用して観光資源にしたい。ある資源を最大限に活かした、新規事業を行うべきではないだろうか。</p> <p>[事務局] では、戦略プロジェクトは本日、戦略部会から提案した3事業に加え、ただいま提案のあった「季節の花リレー事業」「きれいな海づくり事業」の2つを加えた合計5事業から選定していきたい。</p> <p>(委員) “きれいな海”という言葉は“活用する”という視点が入っていないので不十分である。</p> |
| <p>市民評価について</p> | <p>(委員) アルゼンチンアリについて知識がない。現実に被害があるか。</p> <p>[事務局] 繁殖力が強く、日本古来のアリが駆逐されてしまうこと、また、家の中に入ってきて、食べ物にたかるなどの事例がある。</p> <p>(委員) 駆除地域のアンケート結果がほしい。</p> <p>(委員) 総合計画の実施計画にあたるものなのだと思うが、庁内で評価している結果と議会との関係はどうなるのか。</p> <p>[事務局] 評価結果はホームページにも公開しており、議会でも15事業を選んで議員による評価を行っている。</p> |
| <p>その他</p> | <p>(委員) 人口推計の方法に出てくる「婦人子ども比」という言葉が気になった。婦人という言葉は使用しないようお願いしたい。</p> <p>[事務局] 「女性子ども比」として改める。</p> |